



# ピロリ菌検査のご案内



— 今まで一度も受けていない方、是非ご受診ください！ —

当健康保険組合では、今年度も、年度内に30歳になる被保険者および被扶養者を対象としてご家庭で簡単にできる『ピロリ菌検査』を無料で実施いたします。

胃がんを引き起こすピロリ菌感染の有無を知り、陽性の場合には除菌治療をすることで胃がんを予防しましょう！

ぜひこの機会にご受診ください。

## 記

- 1.検査対象者 平成5年4月2日～6年4月1日生まれの本人または家族  
(紙商けんぼの保険証をお持ちの方)  
\*本検査で、過去に「陰性」の結果が出た方は原則申し込む必要はありません。  
ただし、自覚症状や気になる症状がある方は医療機関を受診されることをお勧めします。
- 2.検査費用 無料(全額健保負担)
- 3.申込方法 会社のご担当者様へお申込みください(家族も同様)。  
会社→健保到着が**9月15日必着**ですので、間に合うようにご担当者様へお申し込みください。
- 4.器具の送付 10月初旬以降に、ご自宅に検査機関から採取器具が郵送されます。
- 5.検体の提出 説明書をよく読んで採取していただき、問診票と採取した器具を同封の封筒に入れて、検査機関に郵送してください。(切手不要)
- 6.検体締切日 令和5年11月30日(木) 消印有効
- 7.検査結果 検体到着後約2週間でご自宅に郵送されます。
- 8.検査機関 および 問合せ先 〒604-0827 京都市中京区高倉通二条下ル瓦町550 メスビル内  
メスブ細胞検査研究所(京都府登録衛生検査所第38号)  
TEL(075)231-2230

## お申込みからの流れ



### <個人情報の取り扱いについて>

受診される方の個人情報は、本検査を提供する目的に限り利用します。また、受診する方の個人情報を事前の承諾等を得ず、第三者に提供・開示することはありません。



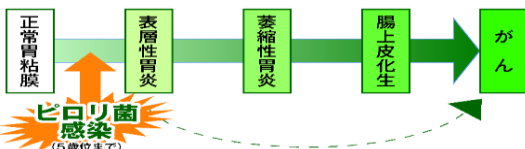
# ピロリ菌検査

## 受けないまま放置していませんか！

自宅でご都合のいい時にできる検査です

### ピロリ菌とは？

胃がん発生の  
仮説



家庭内感染を  
防ぎましょう！

胃に住む細菌で、免疫力の弱い5歳くらいまでの間に感染し、除菌治療をするまで感染は持続します。ピロリ菌感染により胃の粘膜が傷つけられ、やがて慢性萎縮性胃炎を経て、胃・十二指腸潰瘍や胃がんをひきおこすことが解明されています。大人になって感染することはほとんどありません。



検査は簡単！  
一日の便を採取するだけ

### 検査結果が「陽性」だったら？

医療機関を受診されることをおすすめします。

(お近くの医療機関をご紹介します)

検査結果が「陽性」だからと言って、胃潰瘍や十二指腸潰瘍が必ず発症するわけではありません。

しかし、ピロリ菌除菌の治療を行うことで、潰瘍の再発防止、胃がん発症のリスクが低下するなど、胃の状態改善が期待できます。



ピロリ菌採取器具

### ピロリ菌除菌の方法は？

2種類の抗生物質と胃酸の分泌を抑える薬を朝晩2回、1週間服用します。副作用が起こる場合がありますが、おおむね症状は軽く治療が終われば症状はおさまります。除菌治療は、胃・十二指腸潰瘍などに加え、「胃炎」にも健康保険が適用され、除菌しやすい環境が整っています。

(ただし、保険適用のためには内視鏡による確認が必須です。)

除菌して  
よかった！

胃がんは予防  
できます！



受診後も安心！

結果が有所見であった方は、必ず精密検査を受けましょう



検査機関では、受診者の方にあった病院をご紹介します。

紹介状の作成(無料)も行っていますので、お気軽に検査機関にお問い合わせください。



検査機関:メスブ細胞検査研究所 TEL (075)231-2230 HP <http://www.msp-kyoto.co.jp/>

【注意事項】  
 ・郵送検診は自覚症状のない方を対象にしています。すでに自覚症状や気になることがある方は医療機関をご受診ください。  
 ・郵送検診はスクリーニング検診(一次検診)であり、検診結果は病名を診断するものではありません。「要精密・陽性」の結果が出た場合は、速やかに医療機関を受診されることをお勧めします。  
 ・郵送検診の検査結果のみで病名を判断できるものではありません。「異常なし・陰性」の結果の方も、自覚症状や気になることがある方は医療機関を受診されることをお勧めします。